

ホーム名:グループホームきらら摂津峡(1階さくら)

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	各フロアに掲げている	地域に開かれたホームとして、認知症高齢者の尊厳を守り、地域の中で最後までその人らしく暮らして頂けるように目指すことを理念として、その実践の為に個々の症状を介護計画に反映し、日々、工夫・研鑽・努力しながら、職員・利用者一緒になってこの理念を表記した運営規程を毎朝唱和して確認している。		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	活動誌の配布、2ヶ月に一回の運営推進会議の実施	地域との関係性を築き保てるように、きらら通信を自治会の掲示板に掲示したり、近隣にポストイングしたりするなど、事業所の取り組みを地域に発信し続けることに努めている。		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	コロナウイルスの為に中止になることが多いが、地域活動への参加を利用者も実施する事がある			
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	地域に対して施設として行えることを運営推進会議で相談を行っている。	コロナ禍でも万全の対策で運営推進会議を実施している。地域包括や入居者家族だけでなく、老人クラブ代表、民生委員の意見も取り入れて運営に活かしている。		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	福祉指導課への相談を行っている	事業者協議会に参加していることから、適宜情報を共有できている。地域包括支援センターとの連携も適切に行われている。		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	身体拘束廃止についての研修会を	研修を積極的に実施し、権利擁護への学びを深め、身体拘束ゼロを保っている。施設の扉は常に解放されている。身体拘束委員会も2ヶ月に1度、適切に実施され、議事録も整えられている。	身体拘束検討委員会の議事録は、運営推進会議の議事録と分けて整えた方が望ましい。	
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所などでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	研修やグループホームでの会議を通じて虐待防止についての話をを行う。			

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修やグループホームでの会議を通じて権利擁護についての話をを行う。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>実施している</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族、ご利用者の意見や要望を聞き、お互いが納得できるように話合いを行っている。</p>	<p>コロナ禍でも環境を整えて、家族との面会を許可している。家族と話す機会を積極的に設け、要望や意見を積極的に取り入れてケアに反映させるよう心掛けている。家族アンケートも高評価であった。</p>	
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>グループホームでの会議を通して職員の意見を聞き、施設運営に反映できるよう努めている。</p>	<p>職員は毎年3月の理事長面談で忌憚のない意見を伝えることができる。普段から、職員から管理者へ相談しやすい関係が構築できている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>入居者の高齢化、重度化に伴い職員への負担が増加している状況がある。今後、職場環境などの職員、ご利用者、ご家族の意見を聞きながら整備を行っていく。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員との会話をしながら、職場内でのトレーニングを行っている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他事業所の困難事例や検討課題などを定期的に情報交換をしている。市の勉強会などへの参加などを行う。</p>		

Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご利用者の方との会話をを行い、要望を聞いている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族が来所された際や、お電話を掛ける際など、普段から意見を確認している。サービス担当者会議を定期的開催しご家族、ご本人の意見、要望の再確認を行う。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前の面談をご家族(ご本人同席の)とお話しを行い、ご本人の様子やグループホームの体験を行っていただき、御本人がどの段階かを確認し、どのようなサービスが必要と考えられるかお伝えする。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員はご利用者の性格や行動の把握に努めて、対応を行っている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族来所時に、ご利用者が普段どのように過ごしているか説明を行う。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>併設施設である、看護小規模多機能との交流を行う。また、なじみの関係者の訪問などの面会も見られる。</p>	<p>地域に密着した事業所として、利用者の友人や知人等、気軽に立ち寄れる環境づくりを心掛けている。コロナ禍でも細心の注意を払って限定的ではあるが面会を実施し、関係継続を支援している。</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ご利用者同士の関係性を把握し、必要であれば職員も関わりを持って接している。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用の終了後において、相談や質問に対しては返答を行う。また、必要なサービスなどについてもご家族と共に検討を行う。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族から、ご本人の性格や過去の出来事など聞き取りを行っている。	普段のケアの中で知ったことや気づいたことを連絡ノートや業務日誌に書き留め、今後の支援に反映させ、職員間で共有し、利用者の思いに寄り添っている。	ケアマネジャーとの細やかな連携を行い、思いや意向をケアプランに言語化してケアに活かしてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ご家族やご本人からの聞き取りを行い、サービスの利用に反映できるよう把握に努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員からの報告や定期的なモニタリングを通して、状態を把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員からの報告や実際のご利用者の状態に合わせて介護計画を立てている。	ケアプランを見ると、誰のプランかわかるほど、アセスメントがしっかりできている。実際も、利用者1人1人の状態に寄り添った、プラン以上のケアができている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録について、食事、排泄、バイタルなどの測定を行い、状態観察や状況の把握に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族支援での外出の機会や面会、食事介助での来所など、ご家族と協力のもと対応を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルスの為中止することもあがるが、地域の方との関わりをうながしていけるよう務めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については、ご家族やご本人の意思を尊重しながら、協力医療機関のみではなく、かかりつけ医の選択肢も含めて入所していただいている。また、必要な場合には、協力医療機関以外での診察も受けていただいている。	協力医による毎週の往診により適切な対応を心がけている。一方で、かかりつけ医の希望等がある場合は、家族の協力を得ながらその意向を優先しており、情報連携もできている。	

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>むねみつホームメディカルクリニックとの医療連携を行っており、必要時には連絡を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時の調整や必要な情報の提供を行う。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については、ご家族との相談や協力のもと、今後の方向性を検討し対応を行う。</p>	<p>往診医と重度化した場合の対応や終末期の看取りについて連携し、本人や家族の希望に基づいたケアが実践できている。利用者家族からの信頼も厚く、安心して任せられる施設となっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時の方法については定期的に説明や訓練を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の対応方法について、消防訓練として実施している。</p>	<p>消防設備の管理者の協力を得ながら、火災を想定した訓練を行っている。利用者の災害時の対応も職員間で共有できている。</p>	<p>日中と夜間を想定した訓練を交互に実践してみてもどうか。消防にも立ち合い等の協力を仰ぎ、運営推進会議等で実施を投げかけることにより、地域との協力体制もさらに図っていけると思われる。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員に対してプライバシー保護の説明を行う。</p>	<p>利用者との言葉遣いにおいて、親しみやすさと馴れ馴れしさとの違いを理解し、場面ごとの対応のメリハリをつけることを職員全員が常に意識するようスタッフ会議などで話し合っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご利用者の様子や要望の聞き取りを定期的に行っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員に対して定期的に指導や説明を行う。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>離床時の洗顔や食後の口腔ケアを実施する。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事については、施設併設の厨房で昼食と夕食を作り提供しており、食事の美味しさを味わっている。</p>	<p>毎食専門の調理師による手作りの温かい食事を提供している。月に一度食レクの日を決め、利用者の手を借りながらみんなで調理をしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分量、排泄回数を把握し、適切な食べやすい食事の提供をおこなっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後の口腔ケアを実施し、一週間に一度の歯科衛生士の訪問と歯科の訪問がある。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄のタイミングや一日の頻度を把握し適切なタイミングでトイレへのお声掛けが行えるよう努めている。</p>	<p>入居者ごとの排泄パターンをタブレットで把握し、時間管理を行い、できる限り自立を促せるよう、細やかな支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分や食事の内容、必要であれば服薬での対応を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>一階の浴室に機械浴を設置している。入浴については、希望の時間や曜日での対応を必ずしも行っていないが、入浴時の要望や対応は実施している。</p>	<p>利用者一人一人の状態や希望に合わせて、入浴のタイミングや入浴方法を調整している。利用者は、広いスペースで、リラックスした入浴を楽しむことができる。</p>	

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>冷暖房の活用と、窓の開け閉めによる定期的な空気の入替えを実施している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬や点眼薬の追加に対しての把握や、ご利用者の体調を協力医療機関に報告を行う。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活歴や性格を把握し、本人の状態を見ながら気分転換を図る機会を設ける。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるよう支援している</p>	<p>散歩の時間を設けており、日光浴を行っていただく。外出の希望がある際はご家族へ連絡し、相談を行う。</p>	<p>気候を見ながら、密を避けて、近所を散歩する機会を大切にし、利用者が外の刺激や季節を感じられる支援をしている。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理については施設では行わず、ご自身での管理やご家族での管理を行って頂いている。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご自身でお持ちの携帯電話の使い方や聞かれる事もあり、その都度説明を行う。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温かいオレンジ色を基調とした室内とライトを使用しており、過ごしやすい雰囲気がある。</p>	<p>共有スペースには、季節を感じられる掲示をしている。窓から見える庭も定期的に手入れをして、利用者が部屋から和めるように工夫している。利用者の社会性を考慮し、大人の雰囲気を意識した共有空間づくりを心掛けている。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個室での居室があり、一人になりたい場合には、居室にて過ごされることがある。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>御自宅で使用していた椅子やタンス(洋服入れ)、机などご持参されている。</p>	<p>利用者の居室は、希望があれば家具などの使い慣れたものの持ち込みを可能としている。常に気持ちよく利用者が生活できるよう、清掃にも気を配っている。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレについても共用トイレが3つ設</p>		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができていく (参考項目: 9,10,19)	○	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目: 9,10,19)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている (参考項目: 11,12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない